

量子×法務に特化した国内初の業界団体 “量子産業法務ネットワーク”設立のお知らせ

Quantum Industry Legal Network (QILN)



このたび、量子技術分野における法務・政策の専門的な議論と情報発信を目的として、「量子産業法務ネットワーク（英語名：Quantum Industry Legal Network、略称：QILN）」を 2025 年 12 月 22 日付で設立いたしましたので、お知らせいたします。

本ネットワークは、成長途上の量子技術と新規事業開発に対する深い知見を持つ法務専門家が連携し、我が国における量子産業の健全な発展ひいては国際競争力の強化を法的側面から支援することを目的としています。顧問として北川拓也氏（QuEra Computing Inc. President）、寺部雅能氏（デロイト トーマツ グループ 量子技術統括）を迎え、量子技術・産業に関する最先端の議論を踏まえた活動を展開します。

■ 設立趣旨

量子力学の誕生から 100 年を迎えた今、量子コンピュータや量子センシングをはじめとする量子技術は、各国政府の支援や世界的な投資を背景に、研究開発段階から社会実装段階へと急速に移行しつつあります。

量子技術の進歩は、安全保障を含めた高度かつ多様な法的論点を伴います。しかし、量子技術の本質を理解しつつ法的議論を行うことのできる専門人材は極めて希少であり、その裾野の拡大が喫緊の課題となっています。また、我が国は、技術の進歩に政策や法務が追いつかず成長を阻害することを繰り返してきました。本ネットワークは、量子技術と法律の「共通言語」を持つプレーヤーを結びつけ、量子産業の健全な発展と国際競争力強化を法務・政策の側面から後押しすることを目指します。

■ 発起人

（共同代表）	堀田 昂慈	弁護士（岩田合同法律事務所）
（共同代表）	水嶋 優	弁護士（創・佐藤法律事務所）
	辻丸 光一郎	弁理士（IGIP 岩田合同国際知的財産事務所 代表弁理士）

■ 顧問（五十音順）

北川 拓也 氏 QuEra Computing Inc. President
寺部 雅能 氏 デロイト トーマツ グループ 量子技術統括

■ 共同代表コメント

（共同代表 堀田 昂慈 コメント）

量子 100 年の記念すべき年に団体の設立を発表できたことを嬉しく思います。私はこれまで、日本の大手企業を主なクライアントとする法律事務所に所属しつつ、メガベンチャーのセキュリティ部門やブロックチェーン分野のスタートアップ企業の CAO（Chief Administration Officer）としての勤務を経て、「技術ある国や企業が健全に成長するためには法務・政策分野の安定した支援が必要だ」と感じてきました。同じ志を持った仲間とともに、世界をリードする技術をもった QuEra Computing の北川氏・産業全体の成長を支えるデロイトトーマツの寺部氏にもご支援をいただきながら、「量子産業の幕開け」の重要な数年間を走り抜きたいと考えています。

(共同代表 水嶋 優 コメント)

今回、同じ問題意識を持つ専門家、そして量子産業界を代表する顧問の方々とともに 本ネットワークを立ち上げられたことを非常に心強く感じています。私自身は日本銀行での12年以上にわたる制度・政策領域での経験がありますが、MBA 留学時代に日本が「かつて輝いていた国」として事例研究の対象とされていたことに忸怩たる思いを抱き、先端技術分野の弁護士に身を転じました。また、量子技術に関しては NEDO Challenge などビジネスサイドの活動を行っており、社会実装に向けた熱量と課題感の双方に直接触れています。量子技術が未来の日本を支える産業として花開くために、本ネットワークが法務・政策の側面からイノベーションを加速させる基盤となるよう尽力してまいります。

■ 主な活動予定

本ネットワークは、量子技術の基礎・最新動向とそれに関連する法的論点を共有・ナレッジ化し、量子産業に関わる法務・政策人材の裾野を広げることを目指します。当面は「量子時代のデータ保護法」や「量子技術と安全保障」など特定のテーマでの専門家間での勉強会の実施、量子産業のキープレイヤーとの連携構築に注力しつつ、セミナーや記事公表などの対外発信を強化します。中長期的には、政策提言を通じ、産業の制度設計に貢献できる組織へと発展させてまいります。

【お問い合わせ】

量子産業法務ネットワーク事務局

堀田： khorigita@iwatagodo.com

水嶋： y.mizushima@innovationlaw.jp